

## 第 10 回地域包括ケア歯科医療従事者養成講座

- 日 時 令和元年8月4日（日）午後1時～午後3時
- 場 所 三重県歯科医師会館 2階 大会議室  
（津市桜橋2丁目120-2） ※公共交通機関をご利用ください。
- 主 催 三重県・三重県歯科医師会・三重県歯科衛生士会
- 対 象 歯科医療従事者、介護関連行政職、介護職員等
- 講 師 東京都健康長寿医療センター研究所  
自立促進と精神保健研究チーム  
認知症と精神保健 研究員/歯科医師 枝広 あや子 先生
- 演 題 「認知症と共に暮らす方への食を通じた生活支援と口腔健康管理  
～歯科が貢献できること～」
- 申込方法 下記にて三重県歯科医師会までお申し込みください。  
（参加無料）申込締切 7月24日（水）

※講演内容は裏面をご覧ください。

※修了者には当日修了証を交付いたします。

※悪天候等により、やむなく中止となる場合は、研修会当日午前9時までに三重県歯科医師会ホームページに掲載いたします。

### 第 10 回地域包括ケア歯科医療従事者養成講座 参加申込用紙

所属・連絡先	名 前	職 種
TEL ( ) - ( ) - ( )	フリガナ ( )	

お問合せ 三重県歯科医師会事務局 締切 7月24日（水）

お申し込み 〒514-0003 津市桜橋2丁目120-2

TEL059-227-6488 **FAX059-227-0510**



【講演抄録】

## 認知症と共に暮らす方への食を通じた生活支援と口腔健康管理 ～歯科が貢献できること～

東京都健康長寿医療センター研究所

自立促進と精神保健研究チーム

認知症と精神保健 研究員/歯科医師 枝広 あや子 先生

認知症は高齢になることにより高率に発症する **Common Disease** であり、高齢化に伴い推定有病率も増加すると報告されています。皆さんも訪問診療の場面のみならず歯科医院においても、高齢者の多くが認知機能低下を抱えていることに気づくでしょう。認知症の人やその家族の視点を重視して **Dementia Friendly Community** を実現するための様々な取り組みは、我々歯科医療従事者にも求められています。

認知機能低下が徐々に進み、社会とのかかわりが薄れている認知症の人にとって、最後まで残る一番の楽しみは食です。食を守り、生活の継続性を維持するためには、歯科医療従事者が認知症の人に関わり続け、認知症が進行してもケアチームの一員として支援し続けることが必要です。本講座では認知症の原因疾患の特徴、認知機能障害の進行と経過に伴う身体機能低下および口腔機能低下、食べる機能の低下のイメージ、予知的な治療計画と食の支援を考える上での視点についてお伝えしたいと思います。

【講師略歴】 枝広 あや子 (1978 年生まれ)

平成 15 年 北海道大学歯学部卒業  
平成 15 年 東京都老人医療センター 歯科・口腔外科 臨床研修医  
平成 17 年 東京歯科大学オーラルメディシン・口腔外科学講座 入局  
平成 20 年 東京都健康長寿医療センター研究所 協力研究員  
平成 23 年 学位取得、博士(歯学) 東京歯科大学  
平成 24 年 東京都豊島区歯科医師会 東京都豊島区口腔保健センターあぜりあ歯科診療所勤務  
東京都健康長寿医療センター研究所 非常勤研究員  
東京歯科大学オーラルメディシン・口腔外科学講座 非常勤講師  
平成 27 年 東京都健康長寿医療センター研究所 研究員  
現在に至る

◇所属学会◇

日本老年歯科医学会 認定医  
日本咀嚼学会 健康咀嚼指導士  
日本口腔外科学会  
日本摂食嚥下リハビリテーション学会 認定士 等  
専門は 老年歯科医学、口腔外科学など

◇著書◇

「フレイルのみかた」(共著) 中外医学社 2018 年 4 月  
「プライマリケア医のための実践フレイル予防塾 めざせ健康長寿」(共著) 日本医事新報社 2017 年 10 月  
「疾患を有する高齢者の口腔健康管理」(共著) 口腔保健協会 2017 年 7 月 等多数